

平成30年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 行計対象

事務事業名 (中事業)	18032 人権学習推進事業				
基本政策	03 ころ豊かな人が育ち、いきいきと活躍できるまち				
政策	05 人権と多様性を尊重する共生社会				
施策	01 人権意識の高揚と人権文化の創造				
実施形態	直営				
事業期間	単年度	平成20年度～			
要求区分	継続	予算区分	政策		
事業の実施を市に義務づける国の法令					
有無	なし				
法令名					
項目					
予算科目	01-100503-020300				
部名	50 教育委員会	課名	04 生涯学習課		
課長名	柳川瀬輝彦	T E L	0795-22-3111	内線	537

2. 対象・目的・内容

事業概要	<p>人権課題を解決するためには、地域においても一人一人の人権が尊重される環境づくりに取り組み、自分の住んでいる地域に「愛着」と「誇り」をもち、心と心が豊かにつながる地域づくりを進めることが必要である。</p> <p>そこで、日常的な人権課題の解決に向けての意欲と態度を育成するため、これまで養成してきた人権学習リーダーを活用しながら、参加体験型の学習活動や地域活動等を実施して、様々な人権課題について学習するための講座を開設する。</p> <p>平成19年度で人権文化創造活動支援事業は終了し、平成20年度より新規に「地域に学ぶ体験学習支援事業」として開始、平成26年度より「にしわきっ子じんけん教室」として、平成29年度より「にしわきジュニアじんけん教室」として実施している。</p>
事業の対象 (誰・何を)	ボランティア活動や人権にかかわる体験活動、交流活動などの機会を求めている小中学生とその保護者
事業の目的 (どういう状態にするために)	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域における体験活動をとおして自尊感情や自己有用感を育み、豊かな人権感覚を育成する。 地域に人権文化を発信することで、周囲の人々の人権意識も高める。
事業の内容 (どういう内容を行うのか)	<ul style="list-style-type: none"> 人権感覚を培う視点や、地域教育力の向上も視野に入れ、地域における活動を通して自分が住んでいる地域に「愛着」や「誇り」を持つところにも力点を置いた活動 ボランティア活動や高齢の方・障害のある方との交流活動の実施（その他、地域再発見活動）

3. 年度別事業費

(単位：千円)

	事業費	内訳						
		国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源
平成27年度決算額	305	0	0	0	0	0	0	305
平成28年度決算額	304	0	0	0	0	0	0	304
平成29年度決算額	364	0	0	0	0	0	0	364
平成30年度予算額	393	0	0	0	0	0	0	393

4. 総コストの概算

(単位：千円)

平成29年度のこの事業に従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	平成29年度決算額(B)	総コスト (A) + (B)
一般職員	嘱託・臨時職員				
0.03	0.02	0.05	282	364	646
事業費の主な用途		講師謝金、消耗品等			

平成30年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

5. 事業の実績・目標

活動 指標 ①	指標名	実施時間数				単位	時間
	説明や数式	1講座2時間とし、20講座実施している。					
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	目標値	24	75	40			
	実績値	40	66				
	経費(千円) 単位当たりのコスト	304 7.6	646 9.79				
活動 指標 ②	指標名	アンケートとヒアリング(感想文)による満足度				単位	%
	説明や数式	活動への参加の満足度					
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	目標値		90	90			
	実績値	90	90				
	経費(千円) 単位当たりのコスト		0	0			
成果 指標 ①	指標名	参加者人数				単位	人
	説明や数式	参加者延べ人数					
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	目標値	100	600	600			
	実績値	542	1,211				
	経費(千円) 単位当たりのコスト		646 0.53				
成果 指標 ②	指標名	参加者人数				単位	人
	説明や数式	1回あたりの参加者数					
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	目標値	15	15				
	実績値	25	55				
	経費(千円) 単位当たりのコスト		0	0			
実績・成果 等の説明	地域指導者とのふれあいなどを通して、故郷を思う気持ちや地域の良さに気づくことのできる活動となっている。 この活動を通して、児童生徒の人権意識の高揚は向上している。						

6. 評価

1 次 評 価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	3
	事業の総合評価	直接のサービスの相手方	1	受益者負担の適切さ	4	市民ニーズの把握	4
	説明	継続実施 平成29年度より、参加者増をはかることができた。参加者へのヒアリング、参加者の感想文を読むと、参加者満足度も高い。地元紙にも取りあげられることも増え、情報発信もできていると考える。					
2 次 評 価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	3	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	3
	事業の総合評価	直接のサービスの相手方	1	受益者負担の適切さ	4	市民ニーズの把握	4
	説明	継続実施 体験活動の内容は、書道や登山、さつまいも及び稲の植栽・収穫・調理、清掃などを通じた、市民ボランティアや障害者、外国人の方々との触れ合いの中で、児童生徒の人権意識が向上していると推察される。成果を数値化することは困難であるが、こころ豊かに暮らせる街づくりのため、今後も継続した取り組みがする必要があると思われる。今後の課題としては、新たな参加者の獲得であるが、2割程度存在するリピーターの児童生徒の力を借りて、口コミなどで輪を広げてもらいたい。					